

「糸満市立認定こども園在り方計画 今後の方向性に関する素案」に関する保護者説明会 Q & A

日時：令和3年10月11日（月）19：00～20：00

場所：西崎こども園

質問（意見）の内容			回 答
移行案について	1	事務局で2つの提案をしていますが、どちらかに進むということでしょうか。	現時点では2つの案を基本として考えております。他にも提案して検討可能な案があれば、それも含めて検討していきたいと思います。
	2	案1について、糸満南こども園の移行時期は載っておりますが、西崎こども園の移行時期が示されていないのは、どうしてですか。	西崎こども園は築40年近く経過しており、公立で続ける場合は大規模改修を入れなければならない、移行する場合も所有者が糸満市であれば、同じと考えております。しかし、改修費用が想定できない部分があり、予算確保の観点からはっきりと時期は申し上げられません。もしかしたら、糸満南こども園と同時期に移行か、それより遅くなる可能性もあります。 （補足）移行時期については、委員会の中でも保護者間で2つの方向性がありました。一つは、今いる在園児が卒業後に移行して欲しいという意見で、そこは丁寧に説明していくことで理解していただきました。もう一つは、移行に時間がかかると0歳児を預かれない施設の課題が残るため、移行時期を長くしない方がよいという意見でした。0歳児を預かれない経緯としては、西崎こども園の3歳児クラスを昨年（令和2年度）に復活させましたが、復活できた理由として、0歳児クラスを閉めて、西崎の3歳児クラスの人員を確保している状況です。当時の3歳児クラスの閉鎖は反省すべき点だと認識しており、このようなことは2度とないようにしたいと考えておりますが、計画を作成した当時と現在とでは、産休・育休を除いた人数でいうと、シフトを組める職員は2人減っています。保育教諭が増えていない結果、0歳児を預かれておりません。この状況が続くと、はたして公立園の役割として正しいのかという部分がありますので、どうかしたい状況です。
	3	どちらの案になっても2園については移行することは、決定ですか。	計画の中でも当面は3園残すことになっています。市内全体で公立こども園が6園あり、そのうち休園している潮平については別目的で使用する事になっていますので、そうなると残り2園が移行していくと考えております。
公募関係について	4	公私連携園を運営する法人は、社会福祉法人だけでしょうか。	保育所等は、場合によっては株式会社もありますが、こども園については、社会福祉法人または学校法人ということになっています。
	5	今後、移行する場合、光洋こども園のように認可された施設を運営する法人を対象に公募して、それから選ばれていくのでしょうか。	公募ということで、どういった方が応募するか分かりませんが、基本的に市内に限らず、県内からも公募するかと思います。条件として、社会福祉法人または学校法人とありますので、そういった関係者の方に応募してもらう予定です。 （補足）認可予定も含めるかという検討課題になります。ちなみに前はそういったことをしておりません。やはり、経験があつて引き継げるところにお渡ししたいと思いますし、仮に含めた場合でも評価として差がつくと思います。

質問（意見）の内容			回 答
モデル園について	6	都市部のモデル園という計画案が実際に進められているのかも含めて、在り方検討委員会の中で検証されているのでしょうか。	意見の中に検証の話がありましたが、今おこなっている検証は、在り方計画の検証ということで、モデル園自体は残す園をモデル園にする計画となっており、モデル園の運営を検証しているわけではありません。残された園を公立で残すというだけでなく、市内の法人園や公私連携園をより質の高い園にするために、モデル園として利用していく役割があるのではないかという議論がされています。 また、有識者から「都市部の子ども達の課題は多く、複雑で、多岐にわたるため、公が見て欲しい」や「小規模保育事業所との接続を大切にするために、そのモデルとなる3~5歳児の園が必要でないか」という意見がありましたので、それらを加味したのが案2となっています。 （補足）光洋ども園は5年前に公私連携園に移行しておりまして、その運営については、今年度、第三者評価機関による検証・調査を入れており、その質を量った上で必要であれば改善し、次のステップに向けて参考にするということで取り組んでいます。
	7	残された公立園をモデル園として、糸満市全体に広げていこうという取り組みでよろしいでしょうか。	ここでいうモデル園とは、先ほど小学校に入る前に育って欲しい10の姿の説明がありましたが、そこら辺の具体的な糸満市の目標を示し、公私連携園や法人園に協力をお願いしながら、一緒に糸満市をリードしていく形をとっていきたいと考えております。 それからモデル園の取り組みを広げていく事として、公開保育のように皆さんに見ていただく機会を積極的に増やすほか、幼児教育アクションプランを作成し、その中で具体的なものに変えていく取り組みをしているところです。
給食について	8	移行した場合、調理場がない園では現在、 <u>ケータリングを利用しているが、それではアレルギー対応できません</u> 。そうなる今後、給食についてはどうなりますか。	ケータリングには課題があると考えております。直接、在り方計画とは違ってくる部分がありますが、<u>糸満南こども園と西崎こども園はケータリングのため、柔軟な対応ができておりません</u>。糸満南こども園の説明会においても、どうにかできないかというご質問がありました。市役所としては安心安全を提供できるように近づけていきたいと考えておりますが、<u>環境整備に費用が掛かってしまいます</u>。<u>指定された法人によっては、そのままケータリングか、もしくは母体が近くにあれば搬入の可能性もありますが</u>、整備の場合だと、それなりの費用が掛かってしまうので、踏み出せない部分がありますが、少なくとも西崎こども園に関しては、大規模改修が必要と感じます。
	9	大規模改修時に自園調理ができるような取り組みや、給食センターのケータリングを利用できるようにであれば、ぜひ案として出したいと思います。	そういう声があることを教育委員会に伝えたいと思います。
	10	アレルギー対応には、給食センターが重要になってくるかと思いますが。その給食センターも老朽化が進んでおり、改修が必要かと思いますが、その際にアレルギー対応の施設と一緒に整備できれば、とても助かりますが、そういった意見があるのは聞いていますか。	直接、福祉部には話はありません。給食センターの担当部署は、企画開発部と教育委員会になりますので、窓口でないところから情報は伝わってきませんが、糸満南こども園でもそう言った意見がありましたので、報告させていただきたいと考えております。

質問（意見）の内容			回 答
給食について	11	こども園だけでなく、小学校、中学校でもアレルギー問題は関係していきますので、先を見据えた対応をご検討ください。	糸満南こども園でも同様なご意見がありましたので、きちんと伝えたいと思います。教育委員会の管轄であり、事情も色々抱えておりますが、情報だけは確実に伝えていきたいと思います。
	12	<u>保育教諭不足が原因で様々な取り組みをされているかと思いますが、現状進んでいることはありますか。</u>	計画策定時と比べての話になりますが、 今年度、退職した方を補充した形ですが、3名の正職員を採用しております。次年度についても、採用枠を一部設けて、採用試験を実施しております。 それが正職員の部分になりますが、どうしても市役所全体の職員定数と関わってきますので、これ以上増やすことは厳しいです。 それとは別に、 会計年度任用職員という制度が始まり、臨時職員との違いで賞与があったりして、待遇は良くなっております。 しかし、そのような条件でも人が確保できない状況です。 糸満市独自の取り組みとしては、新規卒業生に対し奨学金の返済支援 ということで、他市ではやっていない取り組みをおこない、人員を確保するようにします。
	13	保育教諭不足が課題としてる中で、職員の確保に予算が関係されていると思いますが、その予算の状況をお聞かせください。	まず、正職員については予算ではなく、市役所全体の定員が関係してきます。会計年度任用職員については、例年予算は確保できていますが、人が確保できていない状況です。 また、公立園と法人園も含めた運営費においては、3歳児からの幼児教育保育の無償化の影響や、申込者数が毎年増えている状況があって、年々その費用は増加していますが、そこは義務的経費なので、市の都合で減額することがございませんので、予算措置はきちんとおこなっております。 【補足】定員の話がありましたが、全体的なイメージとして、色々な政策が広がっています。デジタル分野、高齢者分野、障害者分野など様々な分野で、限られた予算や人材をどのように充てるかが課題となっており、そのような中で、どうにかして保育教諭を確保する必要がありますので、民の力も借りながら公は施設をまとめ、そこに人員を集めなければ厳しいと、それが計画の趣旨であります。また、検討委員会の中でも2~3園に集約するのは全会一致しており、その方向性でやらないと厳しいと全体の意見となっています。
保育教諭の確保について	14	働き手のモチベーションも大事だと思いますので、働き手にやさしい環境を作るべきだと思います。	参考にさせていただきます。